

糖尿病の 腎臓 みなさん

守ろう腎臓
防ごう人工透析



近衛家実の日記『猪隈間白記』に「前右大将頼朝御依飲水重病」(頼朝が飲水により重病)と記載されている。※諸説あり

夏目鏡子述、松岡謙筆録『漱石の思い出』に「検尿をしていただくと糖尿病だということ」(中略)と記載されている。※諸説あり

藤原実資の日記『小右記』に「就中近日昼夜多飲、口乾無力、但食不減例」(昼夜を問わず多飲、口渴があり力が無く、ただし食は減ぜず)と記載されている。※諸説あり

糖尿病性腎症 Q&A

正しい知識を身につけて、糖尿病性腎症を予防しましょう。

糖尿病性腎症ってどんな病気?



糖尿病により高血糖状態が長く続くことなどが原因で、腎臓の働きが悪くなる病気です。初期には自覚症状はありません。しかし、血糖値や血圧が高い状態が続くと、徐々に腎機能が低下していきます。



糖尿病性腎症はどうやって診断されるの?

尿検査と血液検査で、腎臓の機能の状態がわかります。体に大切なたんぱくが尿中に多量に漏れ出てしまったり、血液中に老廃物がたまっている場合(クレアチニンおよびeGFRで判定)に腎症と判断されます。



糖尿病性腎症が重症化するとどうなるの?

腎臓には痛みを感じる神経がないので、気づかないまま進行していきます。腎機能が低下すると、吐き気やむくみ、食欲低下などの症状が出始め、心臓や骨、脳など全身の臓器にも影響が及ぼします。

末期腎不全の状態(腎臓の機能がほぼ働かない状態)になると、薬物治療などの回復は難しく、人工透析を受けなくてはならなくなります。



人工透析ってどんな治療?

機能が著しく低下した腎臓に代わり、機械で老廃物を取り除くことです。一般的に行われている「血液透析」は、患者さんの腕の血管から血液を取り出し、老廃物を除去してきれいにする方法です。1回につき4~5時間かかる治療を週3回程度、ずっと受け続ける必要があります。身体的にも時間的にも、金銭的にも大きな負担がかかります。

※わが国の場合、負担の多くは公費でまかなわれています。



糖尿病性腎症の発症や重症化を防ぐには?

まずは、年に1回の健診を欠かさず、血糖、血圧、腎機能のチェックを行ってください。もし糖尿病と診断されたら、決して治療を中断しないこと。定期的に検査を受け、腎臓を守るために生活改善にも取り組んでください。

これまでの研究で、血糖や血圧が良好に保たれている糖尿病患者さんでは、透析になる危険性がグーッと減ることがわかっています。私たちもしっかりサポートするので、がんばりましょう!



大切な腎臓を守る第一歩！

糖尿病性腎症を知ろう

「人生100年時代」と知り、現代の医療機関にやってきた源頼朝さん、夏目漱石さん、藤原道長さん。
そこで知った驚きの事実とは!?

ここは現代の
医療機関

